

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(サマーフェスティバル)		所属部局	市民部		単位番号	4147			
			所属課室	若草窓口サービスセンター		課長名	小林嘉太郎			
	☐ 実施計画事業		所属担当	窓口サービス担当		担当者名	飯田 裕美			
基本政策	基本計画体系	01	情報と連携の都市づくり		予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目 01 一般 0 2 0 1 1 2 0 2 0 0 8				
政策		02	地域ネットワークの充実		事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金				
施策		03	地域コミュニティ活動への支援							
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	南アルプス市地域コミュニティイベント補助金交付要綱						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 [内容]毎年7月第4土曜か8月第1土曜日に ふれあい公園広場で開催 よさこい 盆踊り、連光太鼓の舞台発表、花火大会、商工会・露天商による露天で賑わい。[実施主体]サマーフェスティバル実行委員会[次年度以降計画]内容を検討地域主催のイベントにしていく。				事業費の主な内訳 (22年度)					
					項目(細節)		金額(千円)	項目(細節)		金額(千円)
					報償費		100			
					手数料		20			
					団体補助金		5,688			
			計		5,808					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	実行委員会の開催、河川占用、業務委託、フェスティバルの実施、片付
23年度活動予定	実行委員会の開催、河川占用(H23年度実行委員会により中止決定)
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
地区民	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	
市民主体による地域コミュニティの活性化および市民の親睦	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
地域コミュニティ活動への支援・市民の自主的活動の促進	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 舞台イベント数	団体
イ 出店数	件
ウ 駐車台数	台
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 実行委員会に係る地域住民の人数	人
イ 若草地区人口	人
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 集客数	人
イ 参加者の満足度	%
ウ 実行委員会に係る地域住民の満足度	%
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 自治会活動やイベントに満足している市民の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円	2,300	200	200	200	200		
			一般財源	千円	5,701	5,651	5,425	5,425	5,425		
	事業費計 (A)			千円	8,001	5,851	0	5,625	5,625	5,625	0
	人件費	正規職員従事人数		人	23	23	10	10	10		
		延べ業務時間		時間	230	200	100	100	100		
		人件費計 (B)		千円	1,026	892	0	396	396	396	0
		(A) + (B)		千円	9,027	6,743	0	6,021	6,021	6,021	0
	活動指標		ア	団体	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0		
			イ	件	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0		
	対象指標		ウ	台							
ア			人	26.0	26.0	30.0	30.0	30.0			
成果指標		イ	人	12,454.0	12,636.0	12,800.0	12,900.0	13,000.0			
		ウ									
上位成果指標		ア	人	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0			
		イ	%								
		ウ	%								
		ア	%	70.0	70.0	80.0	80.0	80.0			

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	2月10、11日開催される十日市祭を県内外にPRするため、平成3年8月に「夏の夜の十日市」として開催。発足当時は毎年開催していた若草商業祭と共催だった。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	地区民以外、市外からの参加者が多い。事務局はH18まで商工観光課、H19年度以降支所となった。イベント検討委員会の中で地域コミュニティイベントとして位置づけられ、運営方法も行政主体から地区住民参加型にしなければ継続していく事は困難とされました。H21年度より実行委員会に補助金として交付(運営費・花火)。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	行政が支援してくれなければ継続するのは困難。集客数が多く規模も大きいため市としての祭典として格上げし、市主催で開催して欲しいという要望もある。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	実行委員会を開催し組織作り、運営方法、内容等を検討している。
H 22年度に実施した改革改善の内容	実行委員会の開催により、行政主体から地区住民参加型にしていく組織作り。

事務事業名	地域コミュニティイベント支援事業(サマーフェスティバル)	所属部	市民部	所属課	若草窓口サービスセンター
-------	------------------------------	-----	-----	-----	--------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☒ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☐ 結びついている 【理由↓】 地域イベントでは無く集客を目的としたイベントとなっている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 民間では受け手が見つからない状況。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 地域イベントに位置づけられているので地域住民が主体となって開催できるイベントにしたらどうか。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 集客率より地域イベントとしての満足度の向上を考えたい。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☒ 統合・連携ができない 【理由↓】 地区夏祭、ただし現在の状況では育成会、自治会の区ごとに行っている夏祭で手一杯の為此の事業との統合は困難。 ☐ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 市民の活性化とふれあいの場として休止は好ましくない。	☒ 休止・廃止ができる ☐ 休止・廃止できない 【理由↓】 地域コミュニティイベントの考え方でもある自主運営の出来る実行委員会組織作りが困難な場合は休止も検討
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 地域コミュニティイベントとして運営を住民主体に出来れば可能	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 地域コミュニティイベントとして内容を見直し、住民主体で運営が出来れば可能	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☒ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 公平・公正である 【理由↓】 市外出演希望者や出店団体から負担金を徴収してもよいのではないかな。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	今年度開催につきましては、東日本大震災の余震や計画停電による安全面への配慮と、今後改善が必要とされる実行委員会の再編に向けて中止とし、今年1年かけて新たに実働が出来る実行委員会の構築や実施内容の検討を行い、引き続き地域の活性化とふれあいの場として24年度開催に向けて進めていきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																							
☐ 廃止 (目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性 の結果) ☒ 公平性改善 (公平性 の結果) ☐ 休止 (目的妥当性、 、 の結果) ☒ 成果向上 (有効性 の結果) ☐ 現状維持 (全評価項目で適切) ☒ 必要性検討 (目的妥当性、 、 の結果) ☒ コスト削減 (効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☒</td><td>☐</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要					コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☒	☐	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																							
		削減	維持	増加																					
成果水準	向上	☒	☐	☐																					
	維持	☐	☐																						
	低下	☐																							
(2) 改革改善案について 実行委員会の組織作り 内容の検討 (地域コミュニティイベント)																									
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 実行委員会の組織の見直し		(5) 事務事業優先度評価結果																							
		成果優先度評価結果																							
		コスト削減優先度評価結果																							